

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 佐藤 智生 長崎大学 医歯薬学総合研究科 助教

研究要旨

人工内耳植込み術施行前後の多職種連携による効果的療育に係る好事例・青年～成人の先天性難聴症例の収集

A．研究目的

本研究は人工内耳植込み術前後の療育がうまくいった例を収集して、それぞれに関わる因子を記述的に収集しようとするものである。特に多職種の連携に関わるものを検討し、具体的な例として提示することで、わかりやすく社会的啓蒙を行うことが目的である。

B．研究方法

療育のうまく言っている例（好事例）の基準の作成、spread sheetへの入力フォームの作成。記述的記録の作成、他施設への研究協力依頼。
（倫理面への配慮）
対象症例にはインフォームド・コンセントまたはオプトアウトをとる。
長崎大学病院倫理委員会の承認を得る。
各研究協力施設での倫理委員会の承認を得る。

C．研究結果

長崎大学倫理委員会の承認を得た。
全体会議などで研究協力者の意見を踏まえて収集するデータの項目などについて決定した。

D．考察

職種（医師、言語聴覚士）により好事例の意味が少し異なることがあきらかとなった。収集したデータの記述には多面的な角度からの評価が見て取れるものにする必要がある。

E．結論

好事例収集の具体的方針が決まった。

F．健康危険情報

G．研究発表

1. 論文発表
該当なし

2. 学会発表
該当なし

H．知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし

2. 実用新案登録
該当なし

3. その他
該当なし